

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 計画

学校名	嬉野市立久間小学校
1 前年度 評価結果の概要	○ 学力向上 言語事項の理解、情報処理能力に課題があり、今年度は確実な定着、向上を図る。 また、各教科の学習用語について、学習過程の中で確実に取り扱い定着を図る。 ○ 夢を持ち、志を高める教育を地域コミュニティと連携しながらさらに推進していく。
2 学校教育目標	いきいき久間っ子の育成 くま・工夫して学ぶ子 つ・強くてたくましい子 こ・心やさしい子
3 本年度の重点目標	子どものよさは可能性を引き出し、やる気と夢をもたせる教育活動の推進 ～笑顔いっぱい『たい』が泳ぐ学校づくり～ ①【学力の向上】○基礎基本の定着と語彙力等の向上 ○校内研究の充実 ○家庭学習習慣の確立 ②【心の教育】○道徳教育の推進 ○いじめのない学校づくり ◎夢や目標に向かって努力しようとする気持ちを育む教育の推進 ③【健康・体づくり】○運動習慣の改善や定着化 ○望ましい生活習慣の形成 ○縦割り活動の充実 ④【業務改善・教職員の働き方改革の推進】○業務の効率化の推進と業務遂行能力の向上

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●基礎基本の定着と語彙力等の向上	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上にする。 ○単元テスト(知識理解、言語)で8割達成を目指す。	・毎月「久間小メソッド」を確認する時間を設ける。 ・放課後の算数タイム(火)国語タイム(金)に計画的に取り組む。 ・授業中や国語・算数タイムの中で、文章の中から情報を取り出すためにキーワードに線を引いたり囲んだりする活動を取り入れることと言語事項の定着のための学習を習慣化させることに積極的に取り組む。 ・現行の読書指導は継続する。
	○校内研究の充実	○特別支援教育の視点やUDの視点を取り入れた授業づくりや学級環境づくりについて、理解し取り組んでいる職員を90%以上にする。	・年度当初に具体的な学級環境のUD化についての取組を確認し、全職員で取り組む。 ・算数科の研究授業を全員で行い授業のUD化を図る。
	○家庭学習習慣の確立	○家庭学習の習慣が身につくように工夫して宿題を出す。 ○毎日、学年の目標時間を目指して家(学校塾、学童)で勉強している児童を90%以上にする。	・家庭学習チェックシートに取り組む。(10日×年3回) ・家庭学習の手引きを配布し、学年に応じた学習時間(10分×学年+10分)や内容の充実を図る。 ・自学ノートの掲示(常時)やコンテスト(11月)を実施し、家庭を巻き込みながら内容の充実と啓発を目指す。
●心の教育	●道徳教育の推進	○学校評価児童用アンケートの「道徳の時間の学習に真剣に取り組んでいる。」の項目で、90%が真剣に取り組んでいると答えることを目指す。 ○職員用アンケートの「道徳の授業を年間計画や別様に基づいて、計画的に実施している。」の項目で、90%が実施していると答えることを目指す。	・4月に道徳の時間をどのように進めるのか全職員で共通理解する。(板書の仕方、ワークシートの形式、道徳ノートの活用方法など)道徳ノートは、全校の掲示板上にクラスごとに定期的に掲示し、担任と児童の学習の足跡とする。 ・ふれあい道徳の実施にあたっては、学級通信などで周知することで、広く道徳教育への理解を図る。
	●いじめのない学校づくり	○人権集会(6月、11月)と児童アンケートを年2回行うことにより、いじめを許さない意識付けを図り、早期発見・組織的な早期対応を行う。 ○児童用アンケートの「学校に来ることが楽しい」の項目で、楽しいと答える児童90%を目指す。	・児童のアンケートをもとに、児童との面談を年に1回以上実施し、いじめの早期発見、よりよい解決に努める。 ・年1回、情報モラル研修会を実施し、保護者にも啓発を図る。 ・Q/Uアンケートを年2回実施し、その効果的な活用を図るための研修会を通じ、児童の実態把握を行うことで、支持的風土のある学級経営を行う。
	◎夢や目標に向かって努力しようとする気持ちを育む教育の推進	○道徳の時間に年1回以上、学級通信の中に3回以上、自分の「夢や目標」に係る学習や紹介をする。 ○年に2回、夢を実現できた人物を招き、講話等を実施する。 ○児童用アンケートの「夢や目標をもって生活している。」の項目で、90%の児童が夢や目標があると答えることを目指す。	・学校便り、全校朝会の訓話の中でも数回、夢や目標に向かって努力しようとする気持ちを育む講話等を実施する。 ・グローバルデー事業に年2回以上取り組む。 ・ユメセンなど市の事業に積極的に参加することで、児童が自分なりの「夢や目標」をもつようになる。
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」	○昼休み等以外に出てよく遊ぶ児童を90%以上にする。	・体を使った運動を紹介し、児童に奨励する。(縦割り共遊、がんばるマラソン、久間リンピック、スポーツチャレンジなど) ・放送による外遊びの推奨 ・佐賀県教育委員会作成小学校体育なるほどハンドブックを活用した体育の授業を行う。
	②「望ましい生活習慣の形成」	○毎日、朝食をとって登校する児童を95%以上にする。 ○発達段階に応じた目標の就寝時刻に布団に入る児童を90%以上にする。 (就寝時間(布団に入る)の目安) 低(9:00)：中(9:30)：高(10:00)	・保健室だより等で学校の就寝時間や睡眠の大切さについて保護者に知らせる。 ・委員会発表(保健委員会)で児童に睡眠の大切さについて話す。 ・「家庭学習チェックシート」の項目に就寝時間の項目を入れ、家庭で確認してもらう。 ・情報モラル教室で学校の就寝時間について保護者に知らせる。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務の効率化の推進と業務遂行能力の向上	○業務の効率化ができたと答える職員を90%以上にする。	・学期の振り返りに、業務改善の項目を設け、業務改善に対する各職員の工夫を全職員で共有し、効率化推進を図る。業務遂行に関し、各自が抱えている課題を把握し、課題解決のための対策を講じる。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
○志を高める教育	○保護者・地域コミュニティとの連携の推進	○保護者の授業参観率80%以上。 ○「コミュニティや地域の教育力を活用した実践を計画的に行っている」教員80%以上。	・学校便りやホームページ等で早めに授業参観日を知らせるとともに、学級便りでも内容のお知らせと参加の呼びかけを行う。 ・久間コミ活動等地域連携活動を教科横断的にカリキュラムマネジメントし、コミュニティや関係者と早めに打合せを行い、計画的に取り組む。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育